

基本目標の取組状況（12月末累計・確定値）

1 刑法犯認知件数の抑止

《 目標 》 10,193件以下 ⇒ 《 結果 》 11,385 件

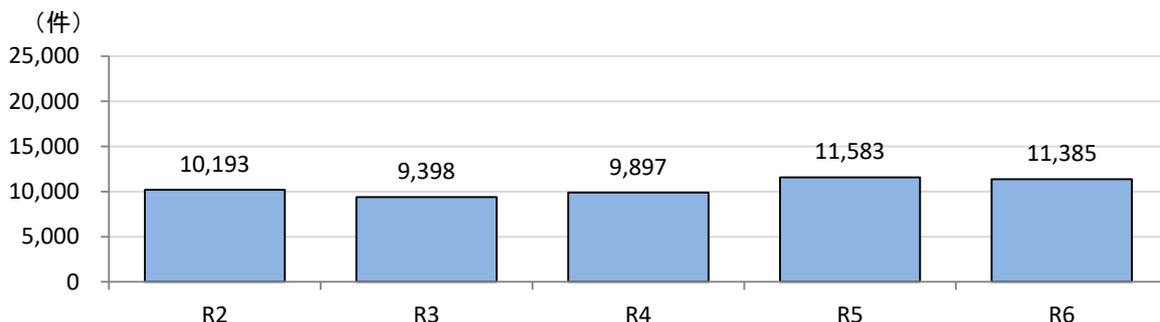


図1 刑法犯認知件数の推移

令和6年中における刑法犯認知件数は11,385件で、前年と比較して198件減少（-1.7%）している。詐欺は1,171件で、前年と比較して176件増加しているが、窃盗犯は7,096件で、前年と比較して583件減少している。

特殊詐欺の認知件数は374件で、前年と比較して22件増加（+6.3%）し、被害額は約15億7,222万円で、前年と比較して約5億9,744万円増加している。

SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数は212件で、前年と比較して108件増加（+103.8%）し、被害額は約16億4,287万円で、前年と比較して約6億6,714万円増加している。

このうち、SNS型投資詐欺の認知件数は82件で、前年と比較して25件増加（+43.9%）し、被害額は約6億8,250万円で、前年と比較して約1億7,377万円増加、SNS型ロマンス詐欺の認知件数は130件で、前年と比較して83件増加（+176.6%）し、被害額は約9億6,037万円で、前年と比較して約4億9,337万円増加している。

県警察では、特殊詐欺電話撃退装置の貸出し、特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金交付事業などの固定電話対策、金融機関やコンビニエンスストアと連携した水際対策を実施しているほか、宮城県警察ホームページ、みやぎセキュリティメール、X（旧Twitter）やインスタグラム等の各種広報媒体を活用した幅広い年齢層に対する注意喚起等、特殊詐欺等の被害防止に向けた取組を推進している。

※ 刑法犯：道路上の交通事故に係る罪を除いた「刑法」等に規定する罪をいう。

※ 認知件数：警察において発生を認知した事件の数をいう。

※ 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数及び被害額については暫定値。

2 交通事故死者数の抑止

《 目標 》 40人以下 ⇒ 《 結果 》 47人

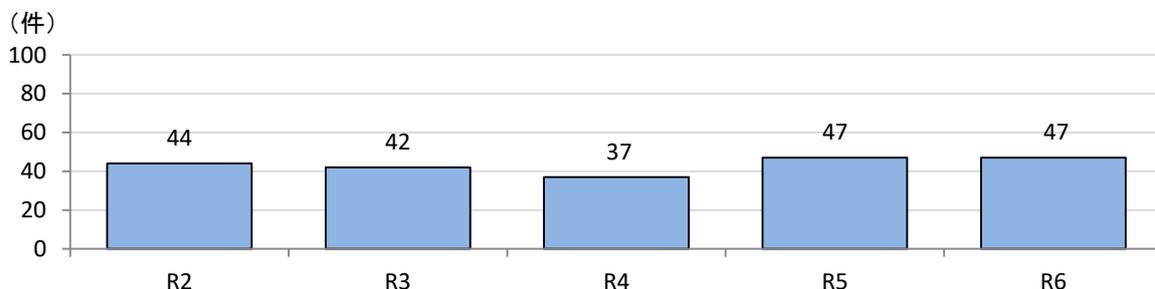


図2 交通事故死者数の推移

令和6年の交通事故死者は47人で、前年と同数だった。

高齢者（65歳以上）の交通事故死者数は26人で、前年と比較し7人（+36.8%）増加し、全死者数の55.3%を占めている。

車線逸脱事故の死者数は20人で、前年と比較して4人（-16.7%）減少しているものの、全死者数の42.6%を占めている。

このため、県警察では、歩行者優先意識の更なる向上を図るほか、高齢者に対する交通安全教育の推進や反射材用品着用の広報啓発、ドライバーに対する速度抑制や適度な緊張感の保持に向けた交通指導取締りの強化などにより、交通死亡事故抑止に向けた取組を推進する。